

広島県医療費適正化計画の 策定に当たって



我が国は、世界に誇れる医療保険制度を基盤として、世界最高水準の平均寿命や高い保健医療水準を実現してきました。

しかし、超高齢社会の到来を目前に控え、今後、医療費の大幅な増大が見込まれることから、将来にわたり持続可能な医療保険制度の再構築が、国・地方を問わず、極めて重要な課題となっています。

このため、広島県では、国の医療構造改革の柱である生活習慣病対策や、効率的な医療提供体制の確立に加え、本県の医療の現状を分析した上で独自の施策を盛り込んだ広島県医療費適正化計画を策定いたしました。

本計画は、県民の生活の質を確保・向上させながら、医療そのものの効率化を総合的かつ計画的に推進することを骨子としており、今後、関係機関と十分連携しながら、計画の着実な実施に全力を挙げて取り組んで参ります。

終わりに、本計画の策定に当たり、熱心に御議論いただいた広島県医療費適正化計画検討委員会の委員の皆様並びに、貴重な御意見や御提言を賜りました県民の皆様に心から感謝申し上げます。

平成20（2008）年3月

広島県知事 藤田 雄山